

デンソーテンレッドフェニックス バレーボール教室



協働まちづくり部生涯学習課
スポーツ推進係（内線288）

デンソーテンレッドフェニックス略歴

「情熱を燃やし、常に高みを目指してはばたくフェニックス」

・概要

兵庫県神戸市に拠点を置き、活動する9人制実業団バレーボールチーム。
9人制リーグの最高峰 V9チャンプリーグに所属し、2020年シーズンから3年連続準優勝を果たすなど、躍進を続けている。

部長：森下 拓 GM：竹口和三 監督：藤本幹朗

暦年	内容
2023シーズン	第9回V9チャンプリーグ (所属中) 大垣大会 (レグ1リーグ) 大分大会 (セミアイリーグ) 広島大会 (レグ1リーグ) 東京大会 (ファイナルメイト) 山口大会 (レグ1リーグ) 全日本総合女子選手権大会
2022シーズン	第8回V9チャンプリーグ 準優勝
2021シーズン	第7回V9チャンプリーグ 準優勝
2020シーズン	第6回V9チャンプリーグ 準優勝
2019シーズン	第5回V9チャンプリーグ 第3位 第88回全日本総合女子選手権大会 優勝 第34回「櫻田記念」全日本実業団選抜男女優勝大会 優勝

デンソーテンレッドフェニックス紹介

2023 シーズン チームスローガン

2023
TRANSFORMATION

大きな変革に挑む、 新しいレッドフェニックスにご期待ください

今シーズンのスローガンには、それぞれがひとつ違った“特性”を身に付け、チームとして新たな形に変容を遂げ、全員で次のステージに挑戦するという思いを込めました。精一杯頑張りますので、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

SOCIAL ACTIVITY

社会地域とともに

デンソーテンは、「私たちは、社会の一員であることを自覚し、企業活動を通してその責任を果たし、貢献します。」を企業理念に掲げています。

この理念のとおり、バレーボールチームにおいても「さまざまな活動を通じて社会・地域のみならずつながりを持ち、貢献していく」という考えのもと日々の活動に取り組んでいます。

STAFF

スタッフ



部長
森下 拓



GM
竹口 和三



監督
藤本 幹郎



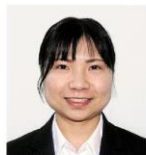
マネージャー
上和田 愛香



ドクター
藤田 健司



理学療法士
兼 トレーナー
古川 裕之



管理栄養士
脇田 茜

メンバー紹介

ATTACKER

アタッカー



1 新人
栗原 真愛 (マナ)
Kurihara Mana



2
西村 怜菜 (フク)
Nishimura Rena



4
藤井 みゆき (ミユ)
Fujii Miyuki



5
本田 彩乃 (テツ)
Honda Ayano



8
野上 里奈 (リナ)
Nokami Rina



9 副キャプテン
吉田 萌子 (ディ)
Yoshida Moeko



11
渡邊 みのり (マコ)
Watanabe Minori



14
兵頭 采 (ヒョウ)
Hyodo Aya

SETTER

セッター



12
後村 侑亜 (ユウア)
Gomura Yuua



13
平田 早希 (キリ)
Hirata Saki

RECEIVER

レシーバー



6 キャプテン
佐々木 遥香 (イチ)
Sasaki Haruka



7
田中 莉桜 (サク)
Tanaka Rio



10
森 友美 (ラン)
Mori Tomomi

佐々木遥香選手略歴



- ・平成11年1月26日生まれ
- ・赤崎町出身 – 猪川小学校 – 第一中学校 – 盛岡誠桜高校 – 東北福祉大学
- ・大船渡アスリート応援団公認アスリート

母と姉の影響を受け、小学校4年生からバレーボールを始める。それまでは、保育園年中から水泳教室に通っていた。

ポジションはレフト（中学）、ライト（高校～大学）。大学3年の秋からリベロに転向。現在は、レシーバーを務める。

暦年	内容	備考	
H24 (中2)	岩手県中学校新人大会	優勝	
H25 (中3)	中総体岩手県大会 バレーボール	ベスト8	
H26 (高1)	高総体岩手県大会 東北高校選手権 南関東インターハイ 全日本高校バレー岩手県大会 岩手県高校新人大会 全日本高校バレー選手権(春高バレー)	優勝 第3位 決勝T進出 優勝 優勝、優秀選手賞 出場	
H27 (高2)	高総体岩手県大会 東北高校選手権 近畿インターハイ 全日本高校バレー岩手県大会 岩手県高校新人大会 全日本高校バレー選手権(春高バレー)	優勝 優勝 出場 優勝、優秀選手賞 優勝、優秀選手賞 出場	
H28 (高3)	高総体岩手県大会 東北高校選手権 中国インターハイ 全日本高校バレー岩手県大会 いわて国体バレー少年女子 全日本高校バレー選手権(春高バレー)	優勝、優秀選手賞 優勝 決勝T進出 優勝、優秀選手賞 第5位 出場	チームといわて国体で、主将を務めた。
H29 (大1)	東北バレー大学リーグ(春季)1部 東日本大学選手権 東北バレー大学リーグ(秋季)1部 愛媛国体 東北地区大学総体 全日本インカレ	優勝 ベスト4 優勝 ベスト4 優勝 ベスト16	
H30 (大2)	東北バレー大学リーグ(春季)1部 東日本大学選手権 皇后杯全日本バレー東北ブロック 東北バレー大学リーグ(秋季)1部 東北地区大学総体 全日本インカレ	優勝、スパイク賞 ベスト8 準優勝 準優勝、スパイク賞 優勝 ベスト16	
R元 (大3)	東北バレー大学リーグ(春季)1部 東日本大学選手権 皇后杯全日本バレー東北ブロック 東北バレー大学リーグ(秋季)1部 全日本インカレ	優勝、ベストディガー賞 ベスト4 優勝 優勝、レシーブ賞、 ベストディガー賞 ベスト16	
R2 (大4)	東北バレー大学リーグ(秋季) 全日本インカレ	優勝 ベスト8	
R3	デンソーテンレッドフェニックス入団		R5.1から主将

概要

- 経 緯**：大船渡アスリート応援団公認アスリートの佐々木選手が所属する9人制実業団バレーボールチーム デンソーテンレッドフェニックスは、東日本大震災以降、被災地で復興支援バレーボール教室を開催しており、佐々木選手のアスリート公認が契機となり、2022年当市での開催が実現し、2023年は2回目の開催となった。
- 主 催**：大船渡市、大船渡アスリート応援団
- 共 催**：デンソーテンレッドフェニックス
- 後 援**：大船渡市教育委員会、大船渡市スポーツ協会
- 共 催**：大船渡市バレーボール協会
- 日 時**：令和5年5月5日（金・祝）午前10時～午後4時
- 場 所**：大船渡市民体育館
- 対 象**：気仙管内でバレーボールに取り組むスポーツ少年団及び部活動のチーム
- 講 師**：デンソーテンレッドフェニックスの皆さん
- 内 容**：レシーブを中心とした基礎練習、スパイク等の実践練習、エキシビジョンマッチ、ミニゲーム等

参加チーム一覧

No	チーム名	区分1	区分2	選手人数
1	おきらいVBSS	小学生	女子	12人
2	キッピンVBSS	小学生	女子	6人
3	下矢作・横田VBSS	小学生	女子	8人
4	住田アリスバレーボールクラブ	小学生	女子	7人
5	サン・ドリーム	小学生	混合	2人
6	米崎フェニックス	小学生	女子	12人
7	市立第一中学校女子バレー部	中学生	女子	21人
8	市立第一中学校男子バレー部	中学生	男子	10人
9	東朋・大船渡中学校女子バレー部	中学生	女子	14人
10	大船渡高校女子バレー部	高校生	女子	9人
合計				101人

バレーボール教室の様子

- ・デンソーテンレッドフェニックスの指導の下、バレーボールの楽しさを体感
選手の皆さんが各チームを2人ずつで担当し、丁寧に指導した。



バレーボール教室の様子

・デンソーテンレッドフェニックスの指導の下、バレーボールの楽しさを体感

午後からは、エキシビジョンマッチなどでハイレベルなプレーを披露したレッドフェニックスの皆さん。

佐々木選手の母校である市立第一中学校女子バレー部 菊地キャプテンが、お礼の言葉を述べた。



報道関係

R5.5.6 岩手日報

バレー上達 一流から刺激 先輩・佐々木遥香選手指導

アスリート
応援団

大船渡

大船渡アスリート
応援団（団長・渕上
清大船渡市長）など
主催のバレーボール

教室は5日、同市盛町の市民
体育館で開かれた。

9人制実業団バレーボール
チーム・デンソーテンレッド
フェニックス（神戸市）の選
手20人が駆け付け、小中学生
101人の指導に当たった。

大船渡市赤崎町出身で主将
の佐々木遥香選手（24）らがレ
シーブやスパイク、サーブを

やって見せ、コツを教えた。
子どもたちは全国で活躍する
選手と接し、目を輝かせて練
習に励んだ。

松川紗楽さん（大船渡・一
中3年）は「正しいフォーム
を一から教えてもらい、自分
のプレーを見直す機会にな
った」と感謝。佐々木選手は
「じかにプロのプレーを見
ることが良い刺激になり、
ますますバレーを好きになっ
てくれればうれしい」と願っ
た。



佐々木遥香選手（中央）の指導を受け、レシーブ練習に励む子ども

報道関係

R.5.5.6 東海新報

東 海 新

丁寧な基礎技術指導

女子バレーボール9人制のデンソーテン

大船渡

佐々木選手(大一中)所属の縁で

兵庫県神戸市を活動拠点とする9人制女子実業団バレーボールチーム・デンソーテンレッドフェニックスによるバレーボール教室が5日、大船渡市民体育館で開かれた。大船渡アスリート応援団がエールを送る大

船渡一中出身の佐々木遥香選手(24)が所属する縁で、昨年に続き実現。指導やプレー披露を通じて小学生らに基礎の大切さを伝えた。

バレーボール教室は、市と同応援団が主催。スポ少



選手たちにアドバイスを送った佐々木選手(電子新聞に別写真あり)

や部活動でバレーボールに励む気仙の小中学生約100人が参加したほか、県立大船渡高校のバレーボール部員が運営を手伝った。チームからは、本年度主将を務めるレシーバーの佐々木選手を含む選手13人に加え、竹口和三セネラル・マネージャー、藤本幹郎監督らが訪れた。会場には「おかげさまで佐々木選手先輩！」と記された横断幕などが飾られた。

選手たちは、準備運動から子どもたちと一緒に体を動かし、マスク越しに笑顔を交わした。午前はトスやレシーブ、スパイク、サーブなどの基礎技術を確認。見本を示した後、小中学生一人一人に声をかけ、アドバイスを送った。

佐々木選手は「小さいころからやってきたことが大事になる。基礎をしっかり伝えられた。私たちのプレーを見て、上手になっ

た。みんなの動きができて、会場に新しい横断幕が掲げられていて、とてもうれしかった」と話していた。

同市赤崎町出身の佐々木

選手は、大船渡一中から盛岡誠桜高、東北福祉大学に進んだ。この間、春高バレーや全日本インカレに出場するなど活躍を続け、昨年4月にデンソーテンレッドフェニックスに入団し

同チームは平成19年以降約250回バレーボール教室を開催するなど、愛好者との交流活動も積極的に展開している。

全日本9人制バレーボールトップリーグ(V9チャンプリーグ)では、ファーストリーグに所属。昨シーズンまで3年連続で準優勝となっており、今年は悲願の優勝を目指す。

(昭和31年2月4日第3種郵便物認可561号)

報道関係

- ・ バレーボール教室の様子が、月刊バレーボールに掲載されました。



報道関係

・デンソーテンレッドフェニックスの公式HPにも掲載



トップ ワンポイントレッスン 9人制バレーとは 活動レポート チームについて 選手情報

ARTICLE

活動レポート

2023年5月5日

岩手県大船渡市で復興支援バレーボール教室を開催

昨年に引き続き、佐々木遥香選手（イチ）の故郷である、岩手県大船渡市からオフィアをいただき、小、中高生総勢100名を対象に大船渡バレーボール教室を開催しました。

■主催：大船渡市、大船渡アスリート応援団



集合写真



弾幕

当日の様子を紹介！

会場

大船渡市民体育館

参加チーム

[小学生] おきらいVBSS/キッピンVBSS/下矢作・横田VBSS
住田アリスバレーボールクラブ/サン・ドリーム/米崎フェニックス 約50名
[中学生] 市立第一中学校（男女）/東朋・大船渡中学校 約45名
[高校生] 大船渡高校 約10名※手伝い

練習メニュー

【午前】・ウォーミングアップ・パス・レシーブ練習・スパイク・サーブ
【午後】・エキシビションマッチ（紅白戦）・午前中のおきらい・ゲーム形式

今年で2回目となる大船渡バレーボール教室。会場に到着すると体育館内には歓迎の弾幕が貼られていて、選手たちは「参加してくれる方々にバレーボールを楽しんでもらおう！」と会話しながら体育館に入ります。

ウォーミングアップでは、選手考案の氷鬼が恒例です。鬼は参加者の立候補制で決まり、目立つようにレッドフェニックスのウェアを着用します。チームウェア着用は大変盛り上がり、会場は笑顔で包まれました。

午前中はレシーブ練習を中心に行い、3人レシーブでは「ボールを触らない人がどう動くか」を重点的にレクチャーしました。

午後はデンの選手によるエキシビションマッチを披露。主催者からは「普段、中々見られない実業団のプレーを間近で見られて、子どもたちだけではなく大人にも良い機会になりました。このバレーボール教室は、参加者も観ている人も、楽しくバレーボールに触れるのでとても良い機会でした。」と有難いお言葉をいただきました。

午後はこれまでの復習とスパイク、ゲーム形式を行いました。「デンの選手みたいに、力強く、カッコいいスパイクを打ちたい！」と子どもたちも気合十分です。ゲーム形式では、教えてもらったことを意識しながらみんなでボールを繋ごうと声を掛け、得点したら大喜び、失点しても前向きな言葉が飛び交いました。

大船渡市での開催は、佐々木遥香（イチ）選手の故郷でもあり、色んな縁が繋がり、実現したバレーボール教室です。「遠く離れていますが、応援しています！」という嬉しいお言葉も掛けていただき、とても励みになりました。

大船渡市、大船渡応援団の方々をはじめ、関係者、準備いただきました皆様へ心より感謝します。

報道関係

・デンソーテンレッドフェニックスの公式HPにも掲載



西村 怜菜 (フク) のコメント

大船渡でのバレー教室は去年に引き続き、2度目の参加となりました！

午前中は緊張からか、話しかけてもうまくコミ

ュニケーションを取ることができませんでした。午後のエキシビジョンマッチの後からは、「すごかった！」と言って受講生から声をかけてくれることが増え、嬉しかったです！積極的に質問をしてくれたり、上手になりたいという意志が伝わって来て、私自身も改めて初心を忘れず、常に向上心をもって頑張ろうと思いました。

去年、私が担当した受講生は小学校3年生ですが、昨年から1年で驚くほど上手になっていたのので、来年もお互い成長した姿で会えることを楽しみにしています！

フクです！



後村 侑亜 (ユウア) のコメント

イチさんの地元である大船渡で2回目となるバレー教室を開催しました！

私は小学生を担当したのですが、教えたことを意識してやってくれている姿や、楽しそうにバレーをしている姿を見て、私も教えていてすごく楽しかったです！

大船渡は食べ物もおいしいですし、これからもバレー教室を通して、たくさんの方にバレーボールの楽しさを伝えていきたいと思います！

ユウアです！



総括

【事業の効果、成果】

- 1 令和4年の開催に続く2回目の令和5年の開催となり、実業団に所属する現役選手による技術レベルの高いプレーや指導に触れる機会が、スポーツ振興に好影響を与えた。
- 2 参加者及び関係者からは、大きな反響と好評を得ており、来年度以降の継続開催を希望する声が多数寄せられた。
- 3 教室の開催に当たっては、市バレーボール協会から積極的な参画を得たことにより、参加者募集や当日の運営などスムーズに進めることができた。当協会は、来年度以降の開催についても意欲的であり、民間主体の交流の展開が期待される。
- 4 ゆかりのアスリートを積極的に応援していく当市の姿勢を、広くアピールすることができた。
- 5 陸前高田市及び住田町のチームにも参加いただいたことにより、当市だけでなく気仙広域での連携を深めることができた。
- 6 佐々木選手をはじめ、デンソーテンレッドフェニックス（Red Phoenix）との親睦を深めることができた。
- 7 Red Phoenixからは、先述のHP掲載の西村選手と後村選手のコメントのとおり、好評をいただいた。また、来年度においても、バレーボール教室の開催について、前向きな考えが示された。
- 8 Red Phoenixのご厚意により無償での開催となったため、費用対効果の高い事業となった。

総括

【課題、反省点等】

- 1 9人制バレーボールリーグは、在京のチームが1チームしかなく、関西圏を中心に活動を展開しているため、当市に来訪可能な日程が限られる。
- 2 年間を通じてスポーツ少年団の大会が数多く開催されており、上記1の日程とスポ少の空き日程の調整が難航する可能性がある。
- 3 引き続きRed Phoenixの昼食や軽食、飲み物等の予算を確保する必要がある。
- 4 会場設営に必要な消耗品（ラインテープ）の予算を確保する必要がある。
- 5 佐々木選手及びRed Phoenixを引き続き応援するとともに、市スポーツ協会及び市バレーボール協会と連携し、来年度以降もデンソーテンレッドフェニックスバレーボール教室の開催に取り組む。